

○国立大学法人筑波大学トランスボーダー医学研究センター（部門：生命科学動物資源センター）利用細則

〔平成31年 3月29日〕
〔医学医療系部局細則第6号〕

国立大学法人筑波大学トランスボーダー医学研究センター（部門：生命科学動物資源センター）利用細則

（趣旨）

第1条 この部局細則は、国立大学法人筑波大学トランスボーダー医学研究センター細則（平成28年医学医療系部局細則第7号）第6条の規定に基づき、トランスボーダー医学研究センターの部門である生命科学動物資源センター（以下「部門センター」という。）の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

（利用）

第2条 部門センターを利用することができる者は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 筑波大学の学生
- (2) 国立大学法人筑波大学の職員
- (3) その他センターの長（以下「センター長」という。）が適当と認めた者

2 前項の規定にかかわらず、部門センターにおいて動物実験を希望する者は、あらかじめ、国立大学法人筑波大学動物実験取扱規程（平成17年法人規程第50号）に規定する所定の手続を経なければならない。

（利用の許可）

第3条 部門センターの利用を希望する者は、別に定める利用申込書をセンター長に提出し、その許可を受けなければならない。

（許可の取消等）

第4条 センター長は、利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が次の各号のいずれかに該当したときは、利用の途中であっても、当該許可を取り消すことができる。

- (1) 部門センターの運営に支障を生じさせたとき。
- (2) この部局細則又は許可条件に違反したとき。
- (3) 動物実験に係る法令、指針等に違反したとき。

(利用状況の報告)

第5条 センター長は、必要に応じ、利用者に対し、利用状況の報告を求めることができる。

2 利用者は、部門センターを利用した研究等の成果について、論文等により公表するときは、当該論文等にその旨を明記しなければならない。

(利用者の義務)

第6条 利用者は、施設及び機器等を常に良好な状態に保つよう努めなければならない。

2 利用者の故意又は過失により、施設及び機器等を滅失し、毀損し、又は汚染したときは、その損害に相当する経費を弁償しなければならない。

(経費の負担)

第7条 利用者は、部門センターの利用に当たり、別表に掲げる経費を負担するものとする。

(雑則)

第8条 この部局細則に定めるもののほか、部門センターの利用に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

1 この部局細則は、平成31年4月1日から施行する。

2 国立大学法人筑波大学生命科学動物資源センター利用細則（平成25年7月24日医学医療系部局細則第8号）は、廃止する。

別表（第7条関係）

部門センター利用経費負担額

経 費	金 額 (円)	備 考
マウス飼育経費	39	1 ケージ(7 匹)・1 日あたり
ラットA飼育経費	35	1 ケージ(3 匹)・1 日あたり
ラットB飼育経費	48	1 ケージ(3 匹)・1 日あたり
モルモット飼育経費	53	1 ケージ(3 匹)・1 日あたり
ウサギ飼育経費	53	1 ケージ(1 匹)・1 日あたり
イヌ飼育経費	400	1 ケージ(1 匹)・1 日あたり
サル飼育経費	400	1 ケージ(1 匹)・1 日あたり
ヒツジ・ブタ飼育経費	400	1 ケージ(1 匹)・1 日あたり
胚操作経費	30,000	1 件あたり
微生物クリーニング経費	10,000	1 匹あたり
微生物検査経費（マウス・ラット）	2,300	1 匹あたり
細胞検疫経費	20,000	1 件あたり
動物実験専有スペース使用料	1,000	1 m ² ・1 月あたり
センター登録料（大学教員）	10,000	1 年間
センター入館カード発行料	1,000	1 件あたり